

## 国語科（国語表現） 学習指導案

日時	令和3年11月24日（水）4限目
場所	商業科2年3組教室
対象	商業科2年3組13名（男子7名，女子6名）
授業者	大水流 百合
教科書	改訂版 国語表現（第一学習社）
履修単位	3単位

### 1 単元名 「課題作文を書く」

### 2 生徒の実態

男子7名，女子6名，計13名のクラスである。明朗活発な生徒と慎重で思慮深い生徒がバランス良く混在している。国語に対する学習意欲は個人差があるものの，全体的には課された課題に懸命に取り組む姿勢が見られる。

### 3 単元設定の理由

本単元では，与えられた題に即して文章を書くことを学ぶ。教科書では，「私」についての課題作文を紹介しているが，今回は前単元にて『他人の話をじっくり傾聴することが，他者理解につながる』ということを生んだことを生かし（前学習教材「相手理解は聞くことから」），他者へインタビューし，そこから得た情報を取捨選択して他者の魅力を伝える課題作文（紹介文）を書くという発展的な授業をしたいと考えた。

### 4 単元目標

- (1) 「書くこと」を通して論理的な思考力・表現力を身に付ける。
- (2) 「書くこと」を通して事実についての認識や事実に向き合う態度を自らの内部に形成する。
- (3) 自分の考えを主張するにあたって効果的な論理の構成について学習する。
- (4) 書いた文章を互いに読み合い，表現力・思考力を豊かにする。

### 5 単元の評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現 (話す・聞く能力)	技能（書く能力）	知識・理解
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し，伝え合う力を高めるとともに，進んで表現すること	様々な表現についてその効果を吟味したり，書いた文章を互いに読み合って批評したりして，自分の	目的や場に応じて，言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に書こうとしている。	国語における表現の特色及び言語の役割などについて理解を深めようとしている。

によって国語の向上を図ろうとしている。	表現や推敲に役立つとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。		
---------------------	--	--	--

## 6 単元の指導計画（全10時間）

### 表現の実践（4）「課題作文を書く」

- （1）インタビューの仕方を学ぶ。（1時間）
- （2）お互いにインタビューをする。（2時間）
- （3）情報をワークシートに書き起こす。（1時間）
- （4）構成を決める。（1時間）
- （5）課題作文（紹介文）を書く。（2時間）
- （6）お互いに批評する。（1時間）…本時
- （7）批評を参考に再度文章を書き、仕上げる。（2時間）

## 7 本時の指導

### （1）教材名

『課題作文を書く』

### （2）本時の目標

お互いに紹介文を読み合うことで、相手の良い表現に気づく。

また、相手の指摘により自身のわかりにくい表現を認識し、文章の推敲を行う。

### （3）本時の評価基準

評価の観点	具体的な評価基準	評価方法
書く能力	・言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に書こうとしている。	・ワークシート ・振り返りシート

### （4）本時の展開

過程	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入	3分	・前時までの学習を振り返る。 ・本時の目標と流れを確認する。	・本時の流れについて見通しを持たせる。	
展開①	10分	・原稿チェックをする上でのポイントを理解する。（※資料①、パワーポイントを使用）	・原稿チェックのポイントを理解させる。	・行動の観察
展開	30分	・グループを作り、一人につき15分の時間をかけて、紹介文	・タイマーで時間を計る。	・行動の観察 ・ワークシート

②	分	をチェックする。	・机間巡視を行い、生徒に助言を行う。	
展開 ③	5分	・戻ってきた原稿とチェック表を見て、自分の良い点に気付く。 併せて、わかりにくい表記の箇所を確認する。	・机間巡視を行い、生徒に助言を行う。	・行動の観察 ・ワークシート
まとめ	2分	・振り返りシートを記入し、次の時間の予告を行う。		・ふりかえりシート